

新設橋の工事が進んでいます！

本工事は2029年（令和11年）の完成を目標に事業を進めています。
2023年（令和5年）6月より着手した、新設下部工（橋台・橋脚）の工事が順調に進んでいる状況です！

今年度は主に河川内にて、引き続き新設橋脚工事を進めていきます！

令和5年6月撮影



令和6年6月撮影



橋台（川崎方）

◆杭の打設



◆鉄筋組立



◆躯体構築

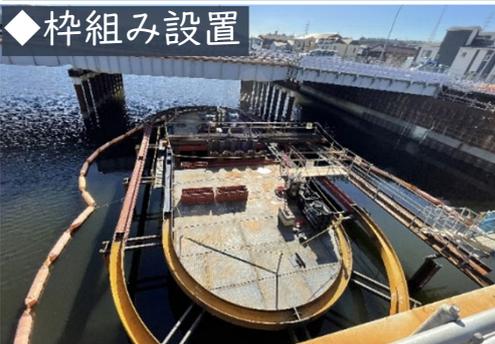


施工性の悪い狭小な空間で、工夫を凝らして躯体を構築しました！

仮橋と干渉する部分は今後の施工となりますが、**ついに新しい橋が姿を現しました！**

橋脚（横浜方）

◆枠組み設置



◆杭の打設



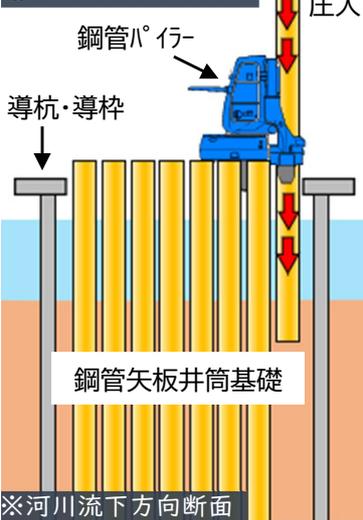
◆杭打設完了



河川内の工事は雨の少ない期間（非出水期（11月～5月））で施工するため、非常にタイトなスケジュールで「鋼管矢板井筒基礎」と呼ばれる杭、**計48本の打設を完了しました!!!**

橋脚施工手順

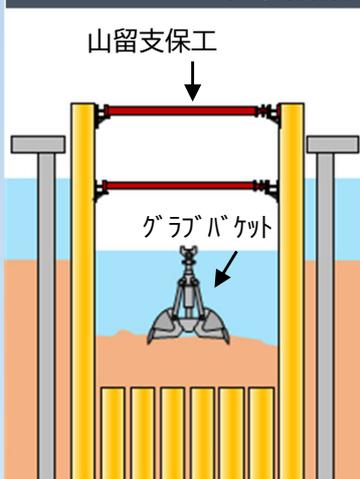
①鋼管矢板打設



※河川流下方向断面

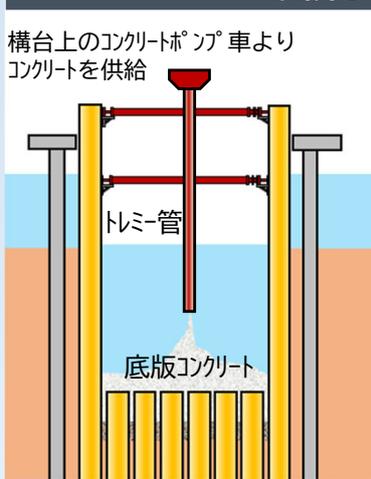
②支保工設置

→水中掘削



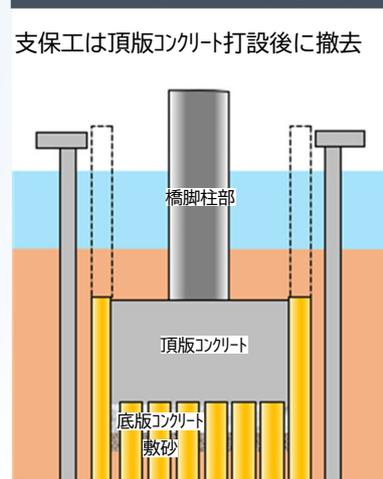
③底版コンクリート打設

→水抜き



④躯体構築

→鋼管切断(完成)

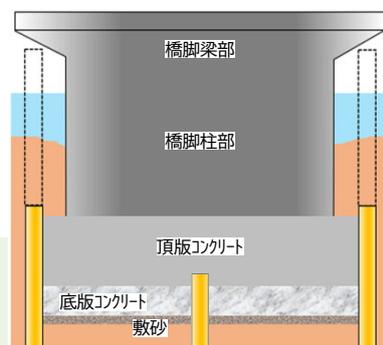


- ①鋼管パイラーという機械を使用し、圧入工法にて48本の杭を井筒形状(締切形状)に打設します。
- ②山留支保工を設置後、井筒内の土砂を水中掘削します。
- ③底版コンクリートは水中状態で打設します。
- ④頂版コンクリート、橋脚柱部のコンクリートは水抜きをしたドライの状態です。躯体構築後、井筒形状(締切形状)となっている鋼管を河床位置で切断し、橋脚施工完了となります。

《本工事の特徴》

河川の流れの阻害の観点から、計2基の橋脚を**1基ずつ**施工します。令和10年度の完成に大きなカギを握る施工であり、安全第一で慎重且つ迅速さを求められる難工事です。

↓ 道路通行方向断面



◆完成イメージパース



今後の工事予定

工種		2024年6月	2024年7月	2024年8月	2024年9月	2024年10月	2024年11月
P1橋脚 (横浜方)	杭打設(5月完了)						
	仮設工	■					
	支保工設置、掘削		■	■			
	底版コンクリート、水抜き				■		
	躯体構築					■	■

※上記工程は予定であり、天候等により前後する可能性があります。

6月より井筒内(締切内)にて**橋脚の躯体構築**に向けた施工に着手しています。P1橋脚(横浜方)が完成次第、P2橋脚(川崎方)の工事が可能となるため、創意工夫等を行いながら1日でも早い完成に向け、日々施工していきます!!!

～お問い合わせ～

●横浜市道路局建設部橋梁課

TEL:045-671-2796 FAX:045-662-3945

●大成・東洋建設共同企業体 末吉橋架替工事作業所

TEL:045-717-8711 FAX:045-717-8712

事業に関する情報を横浜市道路局のホームページに掲載していますので、あわせてご確認ください。

末吉橋 架替

検索